

火災対策

いのちを守る10のポイント

◆4つの習慣

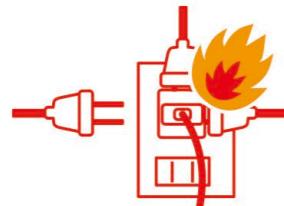


1 寝たばこは絶対にしない、させない

2 ストーブの周りに燃えやすいものを置かない

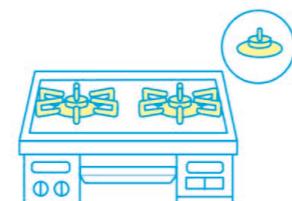


3 コンロを使うときは火のそばを離れない

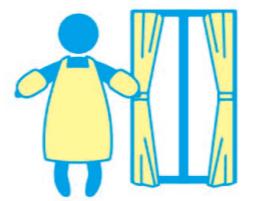


4 コンセントはほこりを清掃し、不必要的プラグは抜く

◆6つの対策



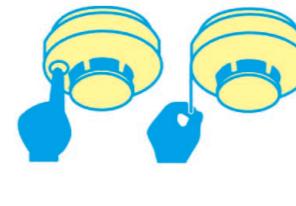
1 火災の発生を防ぐために、ストーブやコンロ等は**安全装置**のつい機器を使用する



2 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは、**防炎品**を使用する



3 高齢者や身体の不自由な人は、**避難経路**と**避難方法**を常に確保し、備えておく



4 火災の早期発見のために、**住宅用火災警報器**を定期的に点検し、10年を目安に交換する



5 火災を小さいうちに消すために、**消防器等**を設置し、使い方を確認しておく



6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、**地域ぐるみの防火対策**を行う

消火器の使い方

消火器は、火災の起きている場所の近くまでは片手または両手で搬送し、消火に安全な場所、概ね7、8メートルまで近づきます。そこで操作をしないと運んでいる間に誤射し、火災現場に到着したときには、放射し終わってしまうこともあります。消火器が重く、片手で運べない人は、両手で抱えるように搬送し、障害物にぶつけないよう気をつけながら運びます。

放射の際は、火の根元をねらって、手前からうきで掃くように消火剤を放射して下さい。消火剤を効果的に放射するため、また、自分の身を守るために消火器は風上から放射します。室内においては、逃げ道を確保し、出入り口を背に放射します。放射時間や放射距離は、本体に必ず表示してありますので確認しておくとよいでしょう。



◆ ホースは、先端を持ちましょう。ホースの途中を持つとホースの圧力などからねらいが定まりず、的確な場所に放射できないおそれがあります。

1 消火器の使い方は、まず最初に黄色い安全ピンを引き抜きます。



2 次にホースを外し火元に向けています。

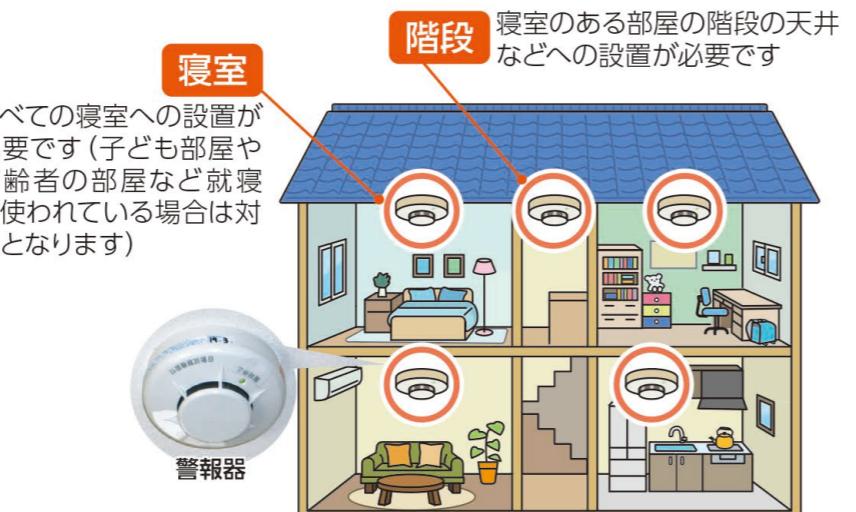


3 そしてレバーを強く握って放射します。消火器が重いときは、消火器を置いたままレバーを握って放射する方法もあります。



火災警報器の設置義務化

消防法に基づき、住宅用火災警報器の設置が義務づけられました。火災による死傷者をなくすためにも設置しましょう。



雪害対策

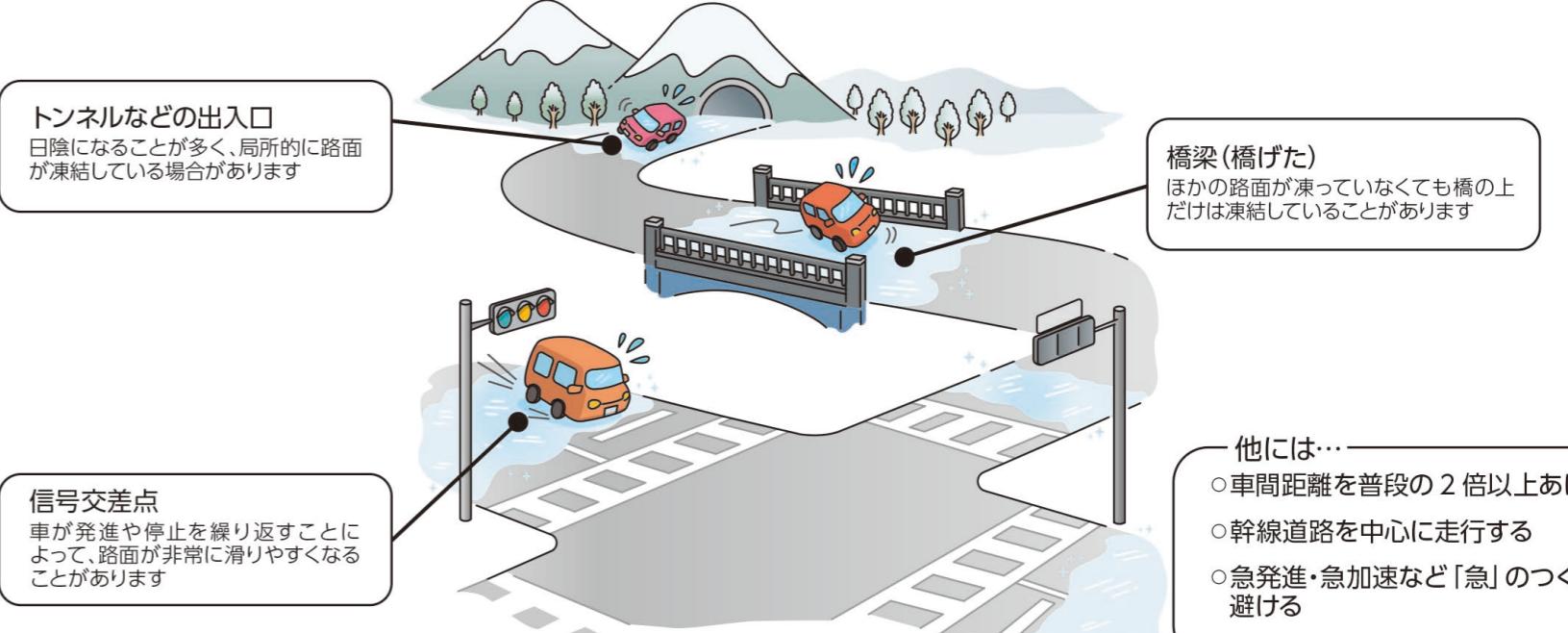
大雪災害

雪崩、除雪中の転落事故などの豪雪地帯特有の災害のほか、路面凍結などによる交通事故や歩行中の転倒事故など、豪雪地帯以外でも発生する災害もあります。雪害に遭わないためにも、雪に対する正しい知識を深めておくことが大切です。

車による雪道での注意点

降雪時、降雪後には路面の凍結や視程障害(吹雪などによる視界不良)による事故に注意が必要です。

こんなところでは路面の凍結に注意!



橋梁(橋げた)
ほかの路面が凍っていないなくても橋の上だけは凍結していることがあります

他には…
○車間距離を普段の2倍以上あける
○幹線道路を中心に走行する
○急発進・急加速など「急」のつく運転は避ける
など

除雪中の注意点

雪下ろしの事故の場合、屋根からの転落事故が多く、高齢者や1人での作業中に多く発生しています。油断や過信をすることなく、安全な対策を講じて事故を防ぎましょう。

事故防止のポイント



歩行者の雪道での注意点

歩行時の転倒にも注意!滑りやすい場所を知りましょう

- 横断歩道の白線の上
乾いているように見えても薄い氷膜ができて、滑りやすくなっている場合があります。
- 車の出入りのある歩道(駐車場の出入口、ガソリンスタンドなど)
出入りする車のタイヤで路面上の氷が磨かれ、非常に滑りやすくなっている場合があります。
- バスやタクシーの乗り場
踏み固められて滑りやすくなっている場合があります。また、歩道と車道との段差にも注意しましょう。
- 坂道
上りよりも下る方が滑って転びやすく危険です。下るときは特に注意しましょう。
- ロードヒーティングの切れ目
雪や氷が融けておらず段差ができる、部分的に滑りやすい状態になっていることがあります。

大雪が降った場合

外出は控えましょう

大雪が予想される場合は、不要不急の外出は極力控えてください。



備蓄しましょう

積雪により外出できなくなる場合に備え、水(1人1日3リットルが目安)、食料、灯油などの備蓄を確認しましょう。特別な非常食に限らず、普段から購入しているものを少し多く買い置きすることで十分です。(最低3日分・推奨7日分)

